

eBASE株式会社

2012年3月期第2四半期決算 と事業概要及び事業報告

当資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2011年11月10日

会社概要

■ 会社名： eBASE株式会社 （証券コード：3835）

■ 設 立： 2001年10月

■ 資本金： 190百万円

■ 本社所在地：大阪市北区豊崎5丁目4-9 商業第二ビル

■ 理 念：

貢献なくして利益なし、利益なくして継続なし、継続なくして貢献なし

社会から求められ、賛同を得られるサービスでないと利益を得ることはできない。

利益を上げないと、そのサービスを継続し成長させていくことはできない。

結果的に、継続した成長を提供できるサービスでないと社会貢献ができない。

■ 事業内容：コンテンツマネジメントソフト「eBASE」の企画開発・販売・保守

■ グループ会社：

eBASE-NeXT株式会社：「eBASE」のクラウドサービス・データプールサービスの運用

eBASE-PLUS株式会社：「eBASE」の受託開発、受託オペレーション、受託サーバー保守・技術者派遣

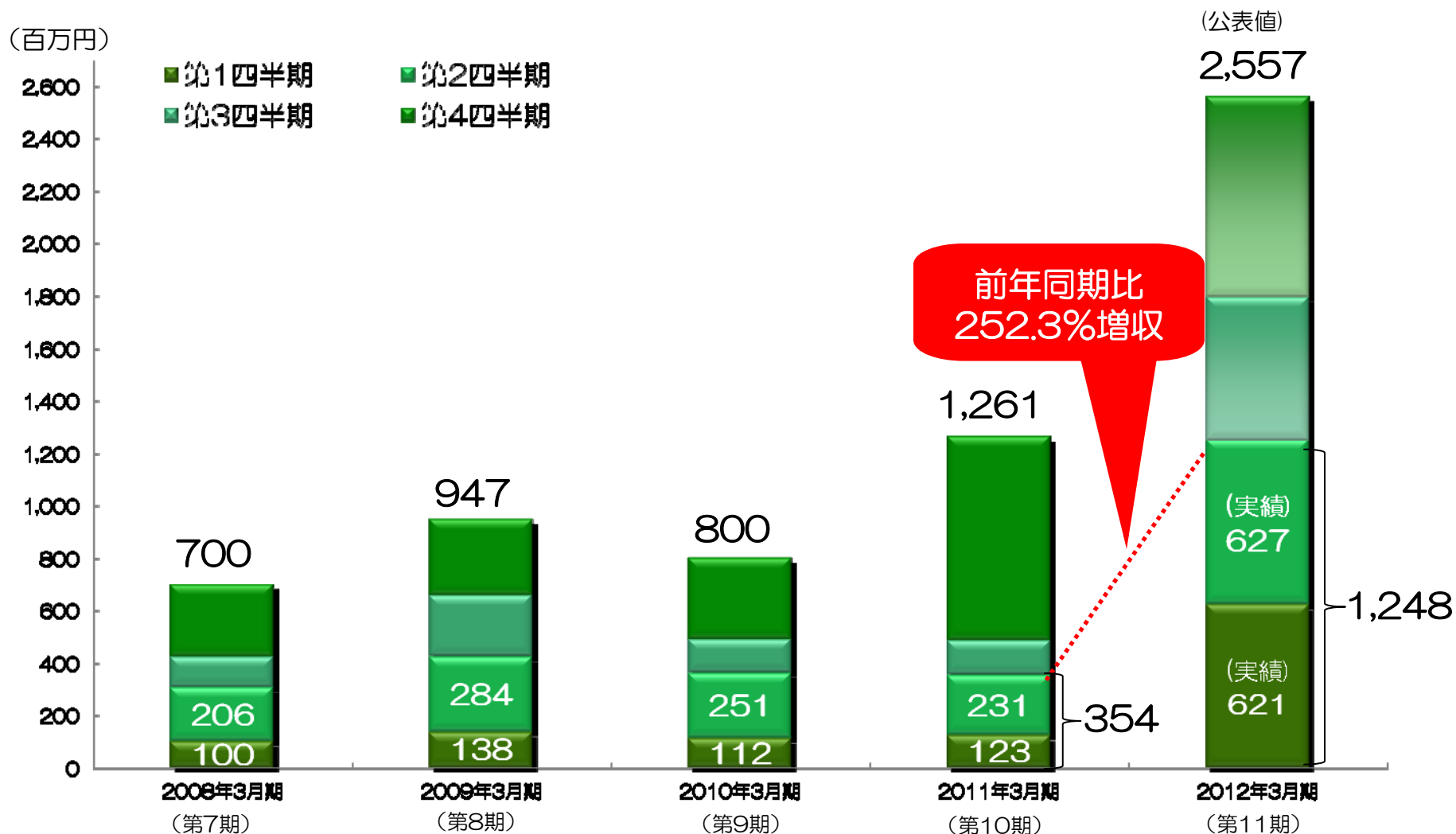
■ グループ総従業員数： 371名（379名/役職員含む）

（2011年10月現在）

2012年3月期第2四半期決算 (2011年4月～2011年9月)

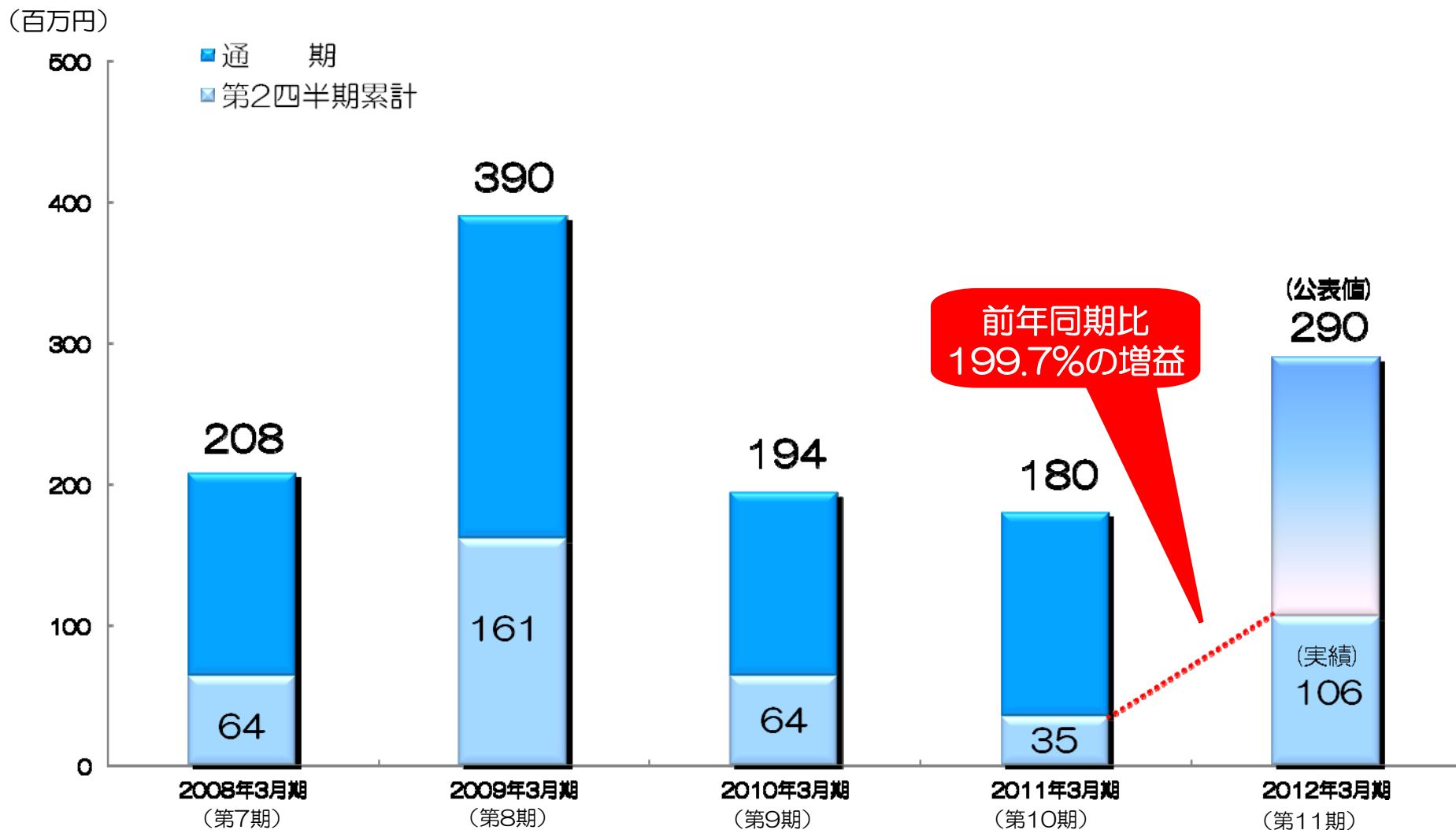
- 通期と四半期別の連結売上高の推移
- 通期と第2四半期累計の連結経常利益の推移
- 第2四半期累計連結業績推移
- 第2四半期累計連結貸借対照表
- 第2四半期累計事業別販売実績の推移
- 2012年3月期の連結業績予想と第2四半期累計実績

通期と四半期別の連結売上高の推移



(注) 1 2011年3月期(第10期)第4四半期に連結子会社(eBASE-PLUS株)が事業譲受を行っております。

通期と第2四半期累計の連結経常利益の推移



(注) 1. 2011年3月期 (第10期) 第4四半期に連結子会社 (eBASE-PLUS(株)) が事業譲受を行っております。

第2四半期累計連結業績推移

(単位：百万円)

	2008年3月期 (第7期)	2009年3月期 (第8期)	2010年3月期 (第9期)	2011年3月期 (第10期)	2012年3月期 (第11期)
売上高 (eBASE社) (eBASE-PLUS社)	306 (306) (-)	422 (422) (-)	363 (363) (-)	354 (354) (-)	1,248 (384) (864)
営業利益	63	159	63	33	91
経常利益 (eBASE社) (eBASE-PLUS社)	64 (64) (-)	161 (161) (-)	64 (64) (-)	35 (35) (-)	106 (44) (62)
四半期純利益	36	94	38	19	61

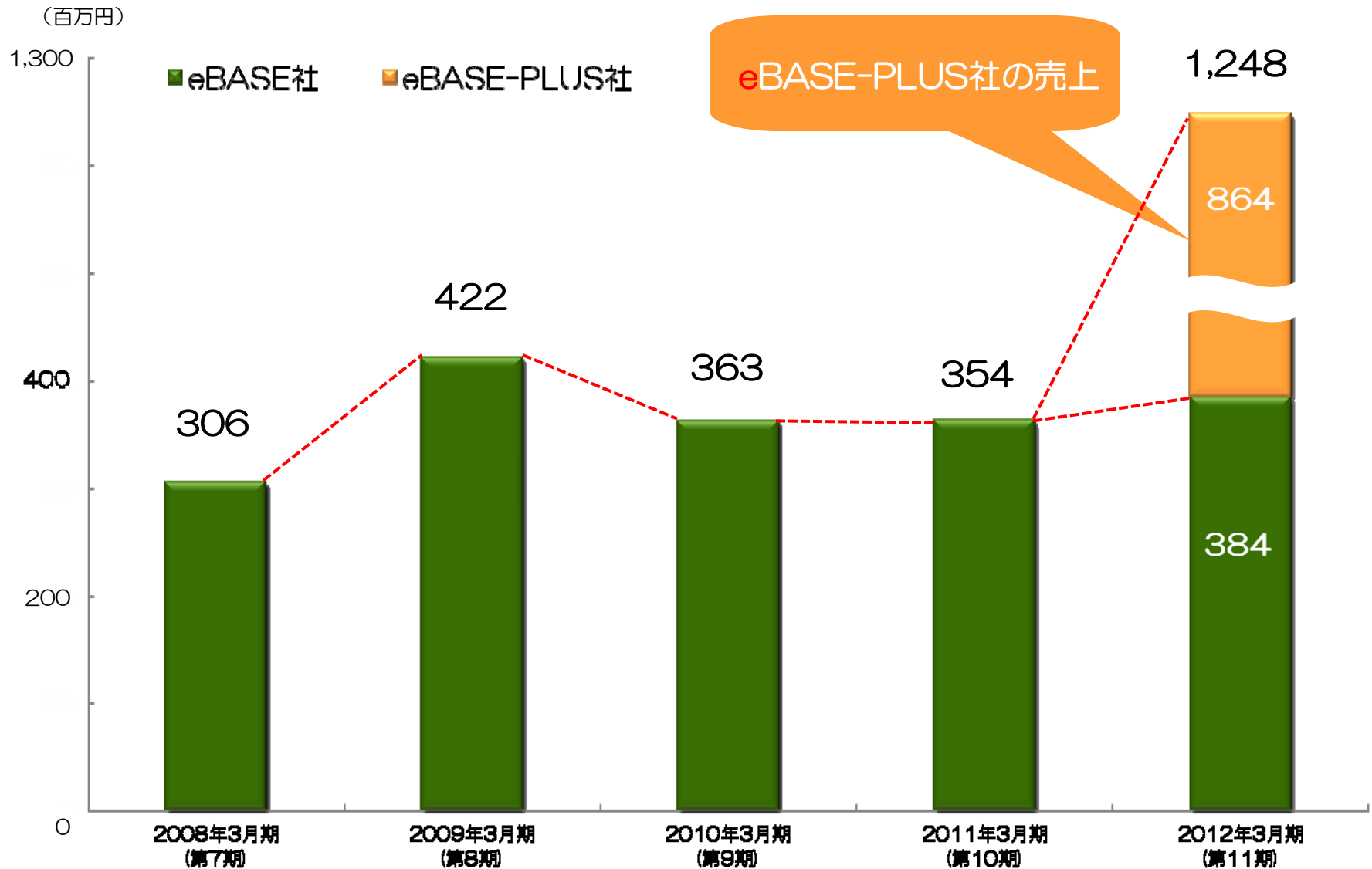
(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

第2四半期累計連結貸借対照表

(単位：百万円)

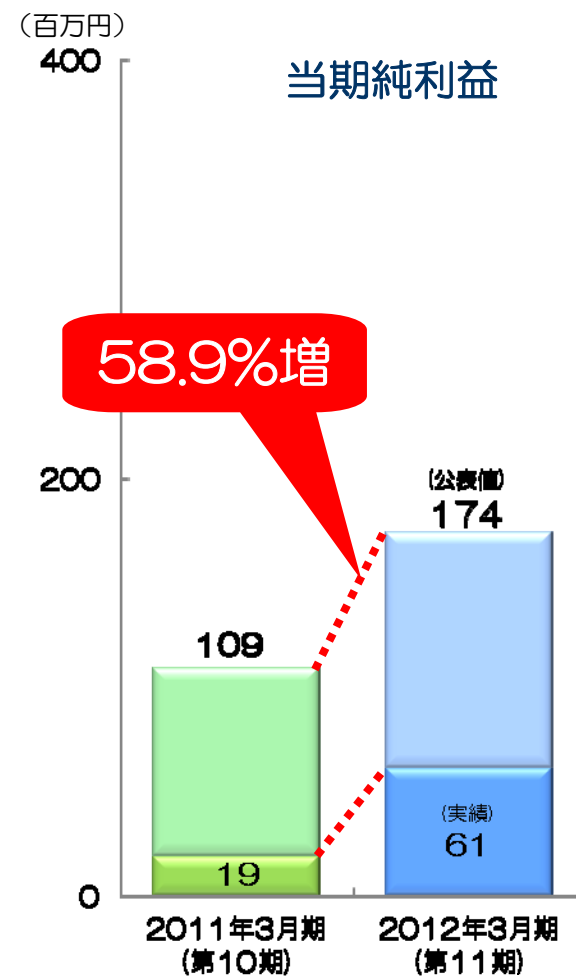
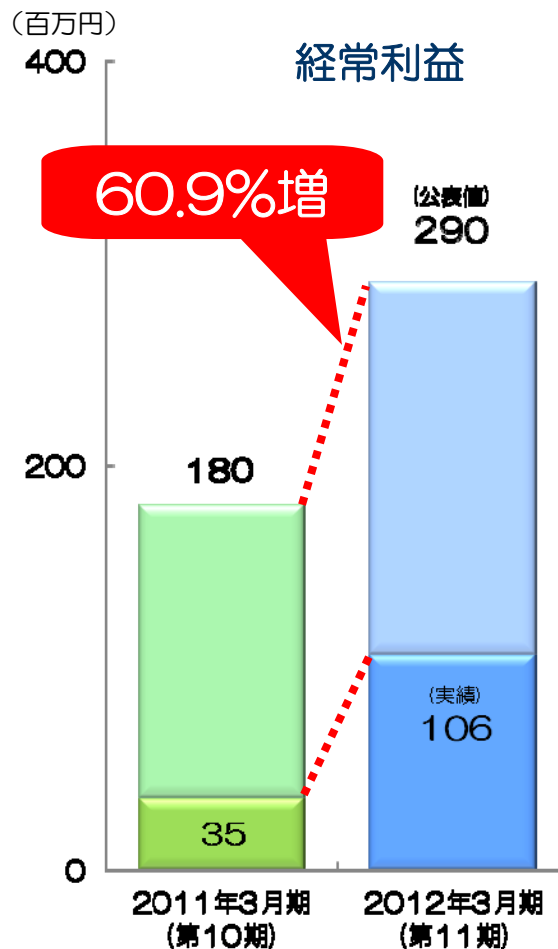
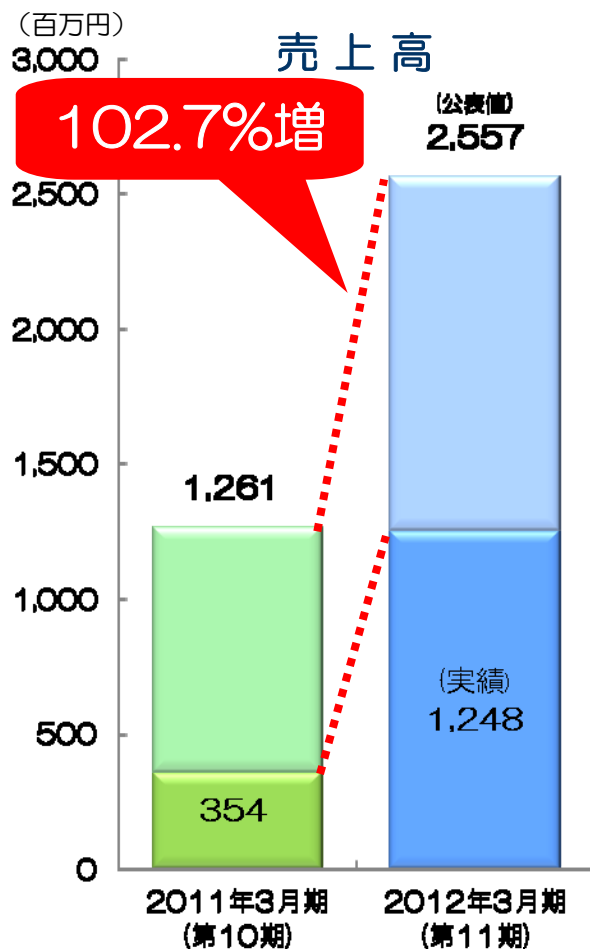
	前期 (2011年3月末)	当四半期 (2011年9月末)	前期比	
流動資産	911	960	49	現金及び預金+147 受取手形及び売掛金△111
固定資産	320	312	△8	
(有形+無形資産)	(86)	(78)	(△8)	のれん△8
(その他)	(234)	(234)	(-)	
資産合計	1,231	1,272	41	
流動負債	152	165	13	前受金+10
固定負債	1	1	—	
負債合計	153	166	13	
株主資本合計	1,074	1,102	28	利益剰余金+38 (配当金支払 △23) (当四半期純利益の計上+61) 自己株式取得△10
少数株主持分	4	4	—	
純資産合計	1,078	1,106	28	
負債・純資産合計	1,231	1,272	41	

第2四半期累計事業別販売実績の推移



2012年3月期の連結業績予想と第2四半期累計実績

(実績値) ■2011年3月期(第2四半期累計期間)
■2011年3月期(通期)
(公表値) ■2012年3月期(第2四半期累計期間)
■2012年3月期(通期)



eBASE事業概要と事業報告

- eBASEの基本機能
- ミドルウェアeBASEの利用
- ミドルウェアeBASEを使ったソフトウェア事業
- eBASEコンテンツ管理システムの開発事例
- eBASE商品DBシステムのポジショニング
- 業界別商品DBパッケージソフト事業
- 第2四半期累計種類別販売実績の推移
- 第2四半期累計業界別売上実績の推移

eBASEは

様々なコンテンツ管理システムを開発できるミドルウェアで、
商品情報管理、ドキュメント管理システム開発を容易にします。

様々なコンテンツ管理！

フレキシブルなデータ構造！

The screenshot displays the eBASE software interface with several key components highlighted by red boxes and arrows:

- 複数の素材データ (Multiple Material Data):** Points to the left sidebar area containing a product image of '男爵コロッケ' (Baron Croquette) and a list of associated files like 'image7.1.jpg'.
- 品番 (Product Number):** Points to the '品番' (Product No.) field in the main product information section, which is set to '11111111'.
- 複数の商品スペックデータ構造 (Multiple Product Specification Data Structure):** Points to the '仕様' (Specification) table, which lists various attributes for the product.
- 商品画像 (印刷用、棚割用、web用、等) (Product Image (for printing, shelf layout, web, etc.)):** Points to the bottom section of the interface, which includes fields for 'サブ画像1' (Sub-image 1) and 'サブ画像2' (Sub-image 2).

The '仕様' (Specification) table contains the following data:

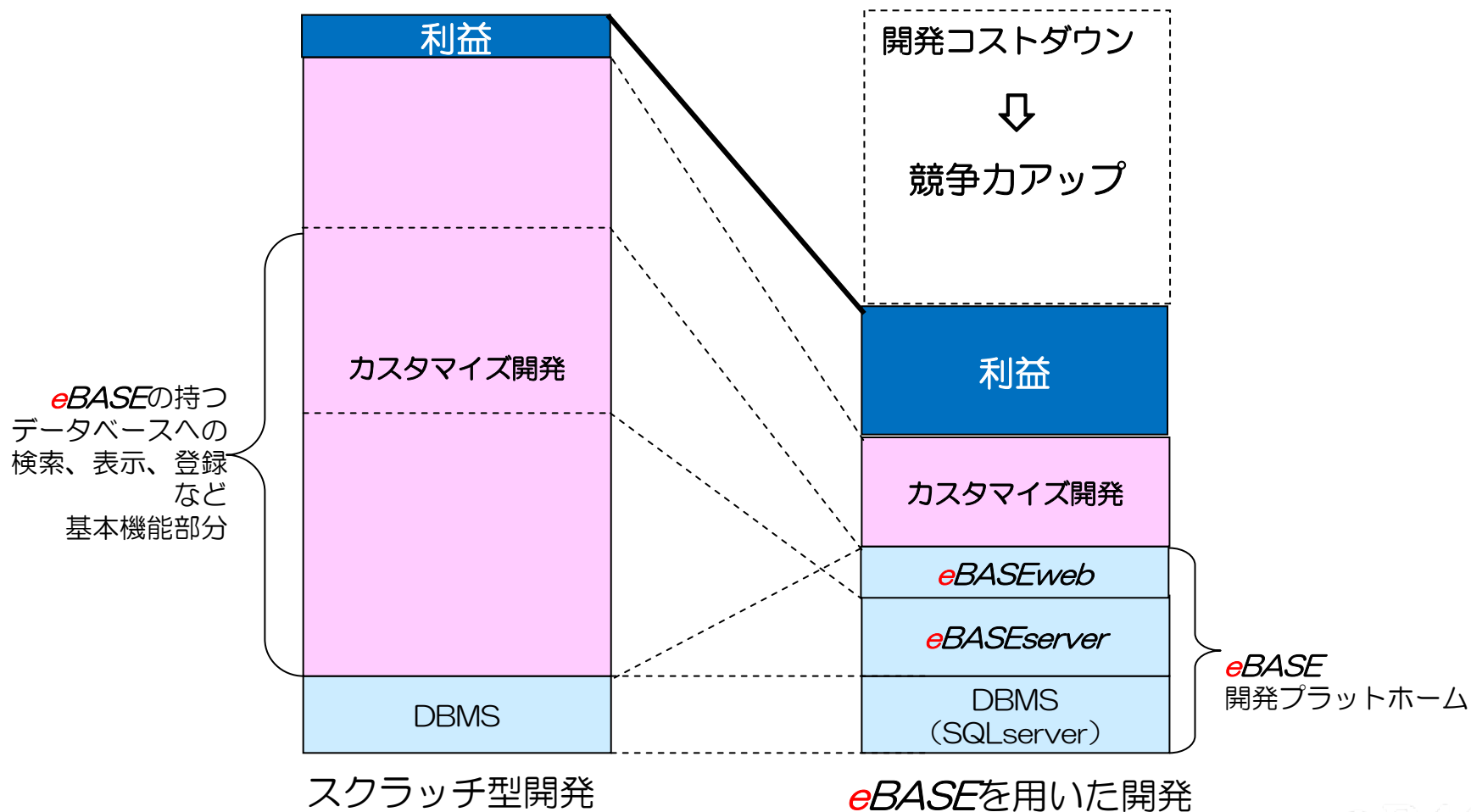
No.	仕様
1	仕様
2	登録
3	修正
4	通常・レポートタイプ
5	JANコード無し
6	商品名
7	商品名カナ
8	ブランド名
9	規格
10	規格単位
11	規格カナ
12	発注単位

The bottom right corner of the interface features the eBASE logo and a QR code.



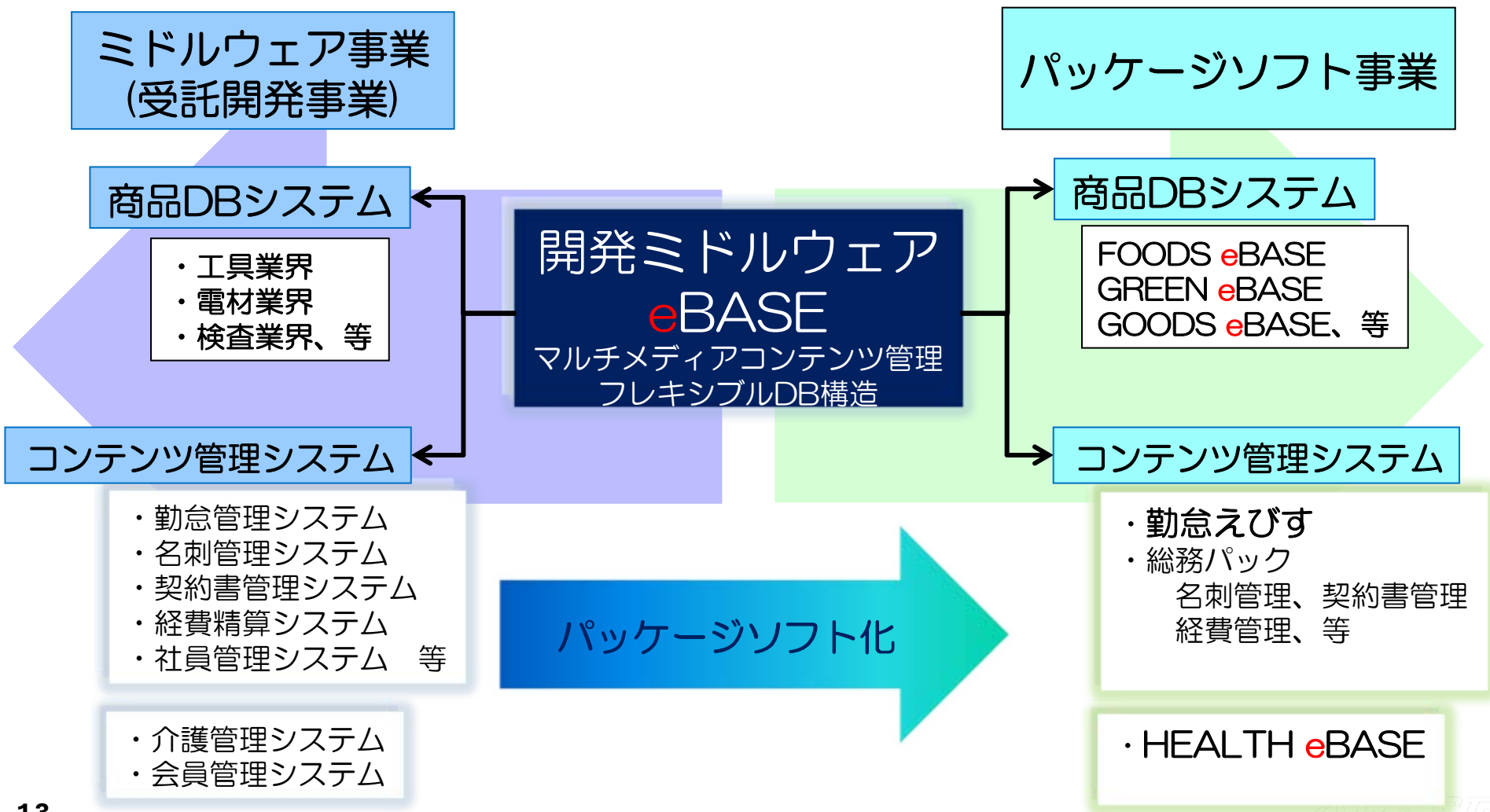
ミドルウェア*e*BASEの利用

様々なコンテンツマネージメントシステムを
投資対効果高く、開発可能です。



ミドルウェアeBASEを使ったソフトウェア事業

ミドルウェアeBASEを利用し、様々なCMSを受託開発。
そこで得られたソフト資産、ノウハウを活用し、パッケージソフト化。



eBASEコンテンツ管理システムの開発事例



名刺管理システム、等

顧客管理システム
社員管理システム、等

営業案件管理システム

勤怠管理システム



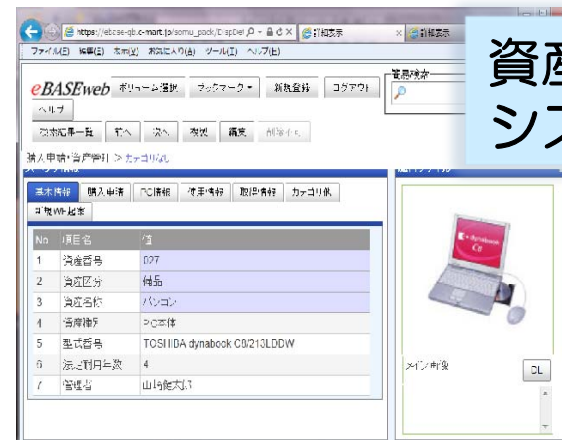
経費管理
システム

販売

給与

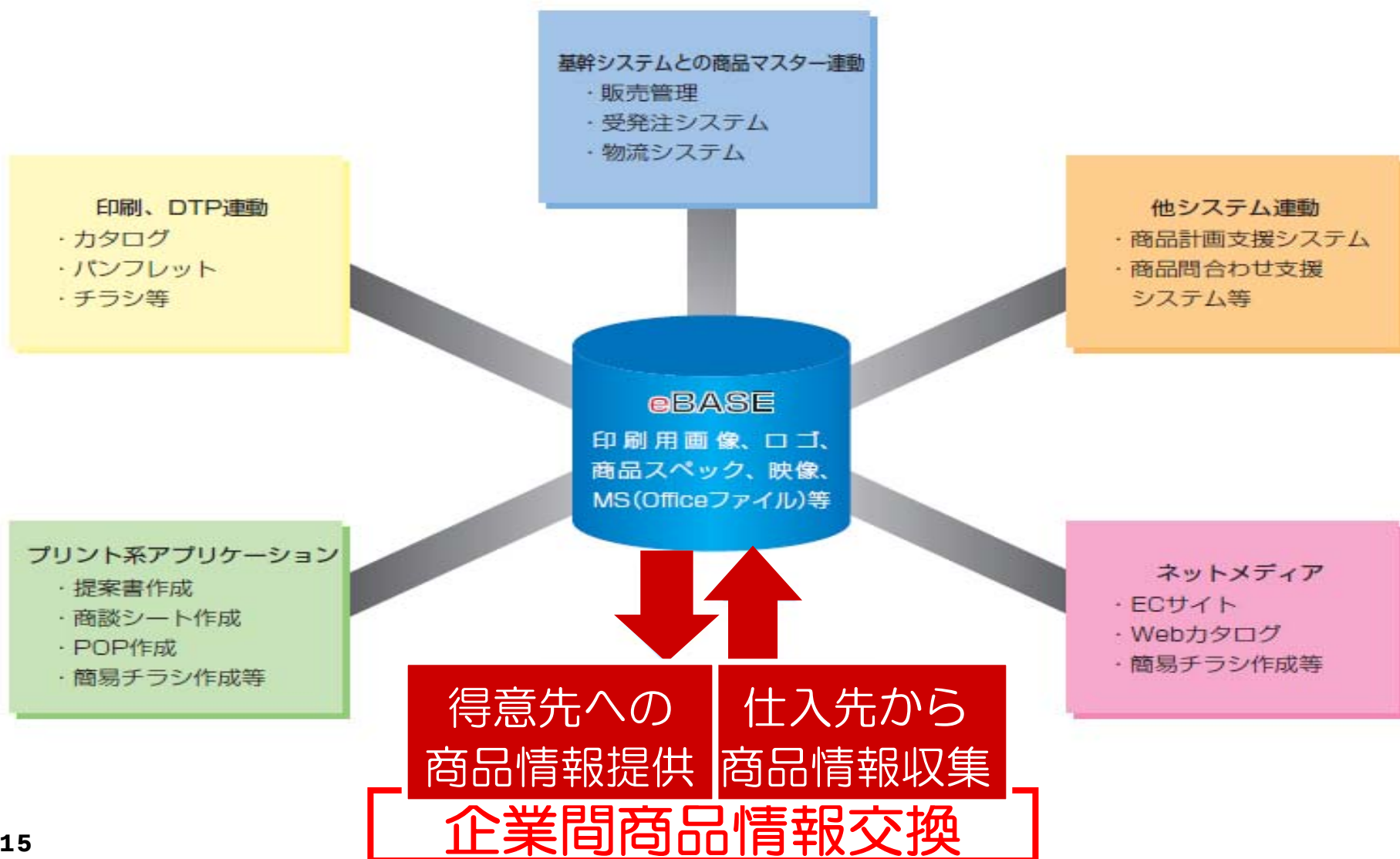
会計

資産管理
システム



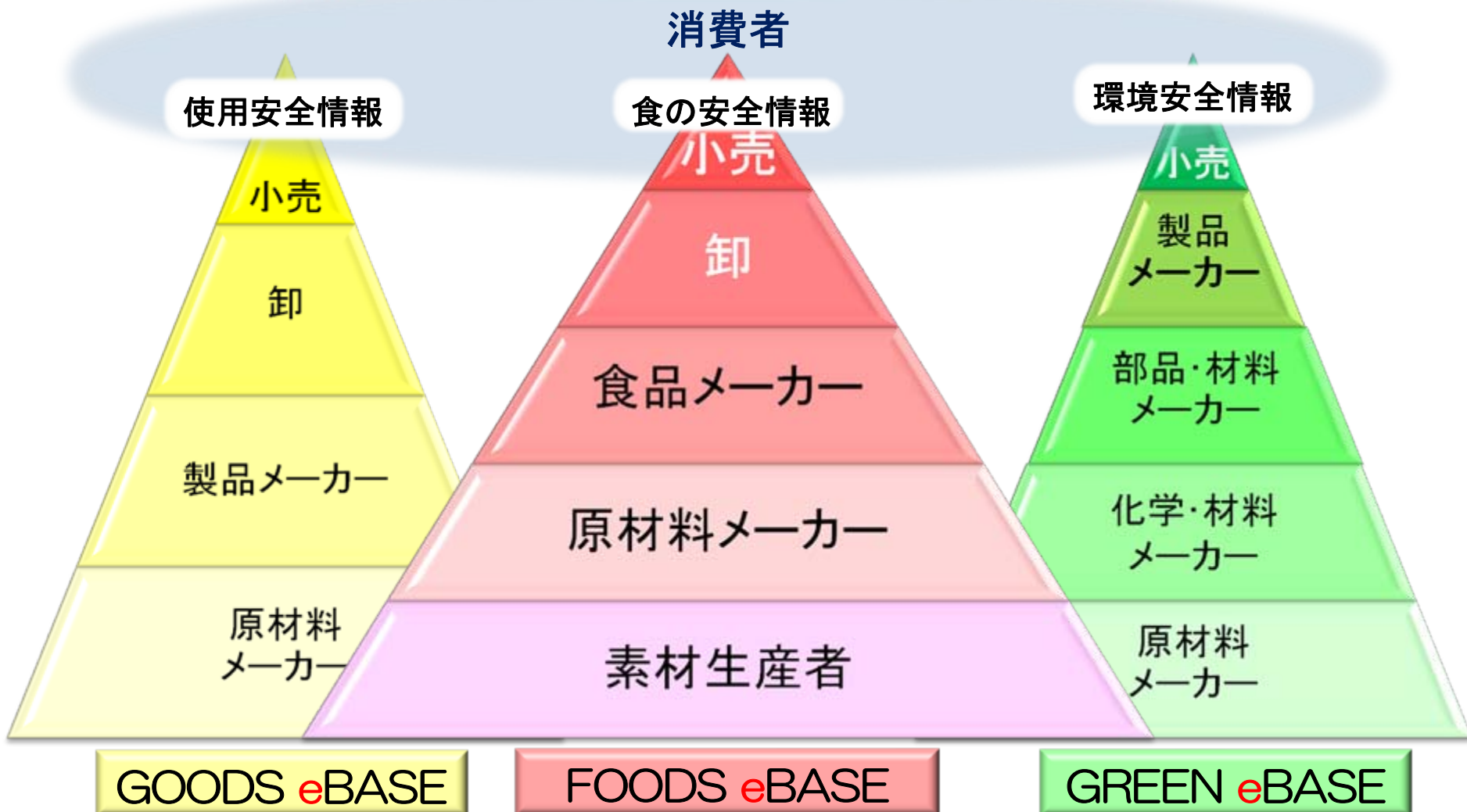
eBASE商品DBシステムのポジショニング

リッチ商品マスターを様々な他システムと連携運用！



業界別商品DBパッケージソフト事業

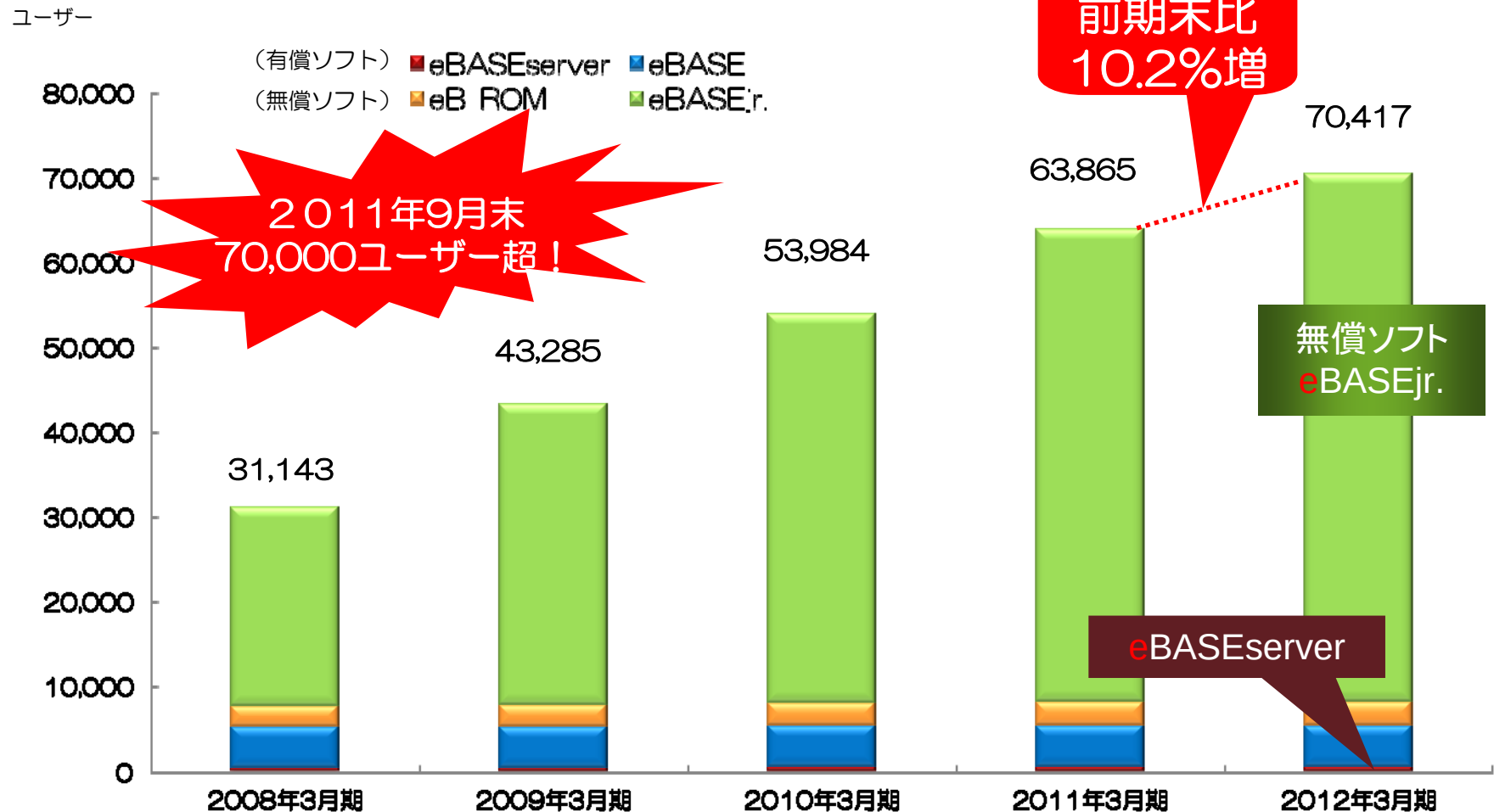
業界毎に商品情報交換の全体最適化推進！



製品ユーザー数の推移

商品情報交換の標準プラットフォームとして着実に普及。

総ユーザー数（2011年9月末現在）

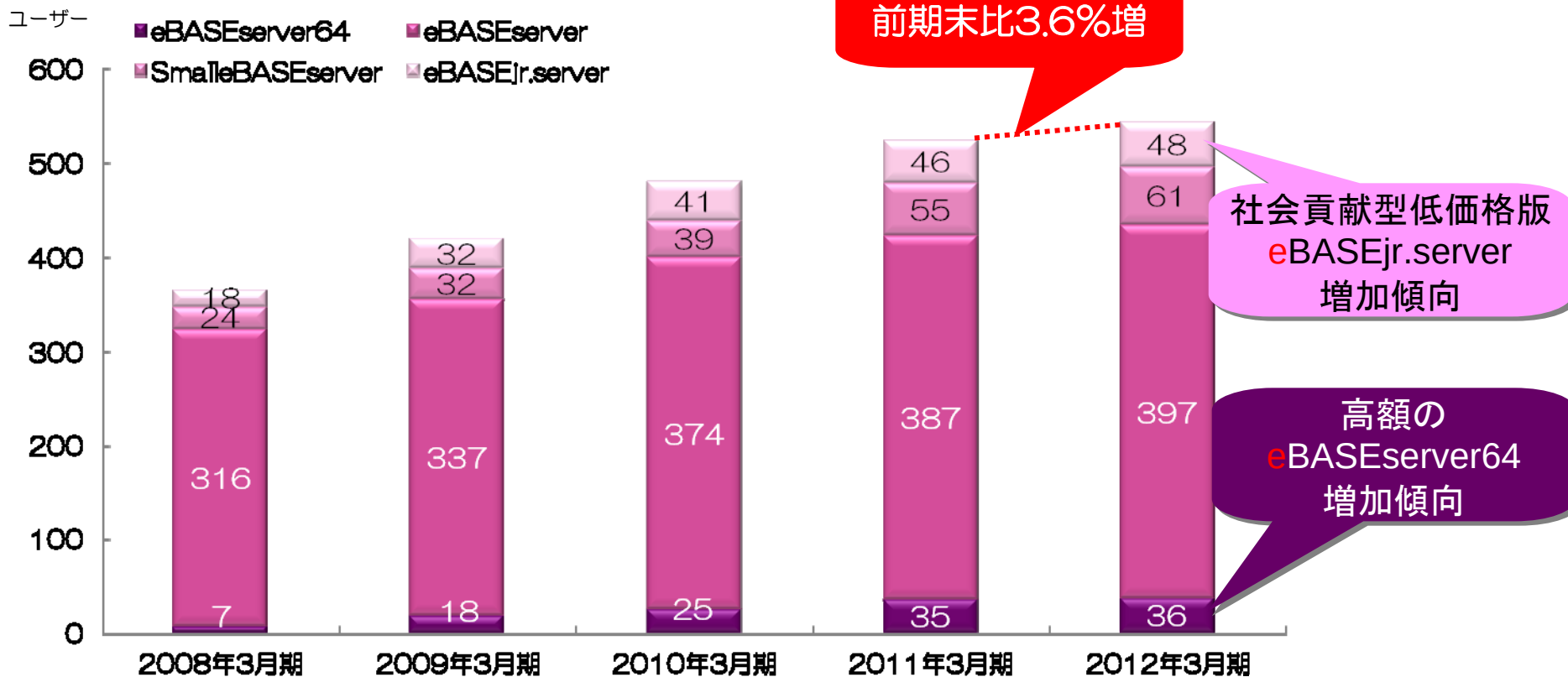


eBASEserverユーザーの推移

無償ソフトeBASEjr.ユーザーによる

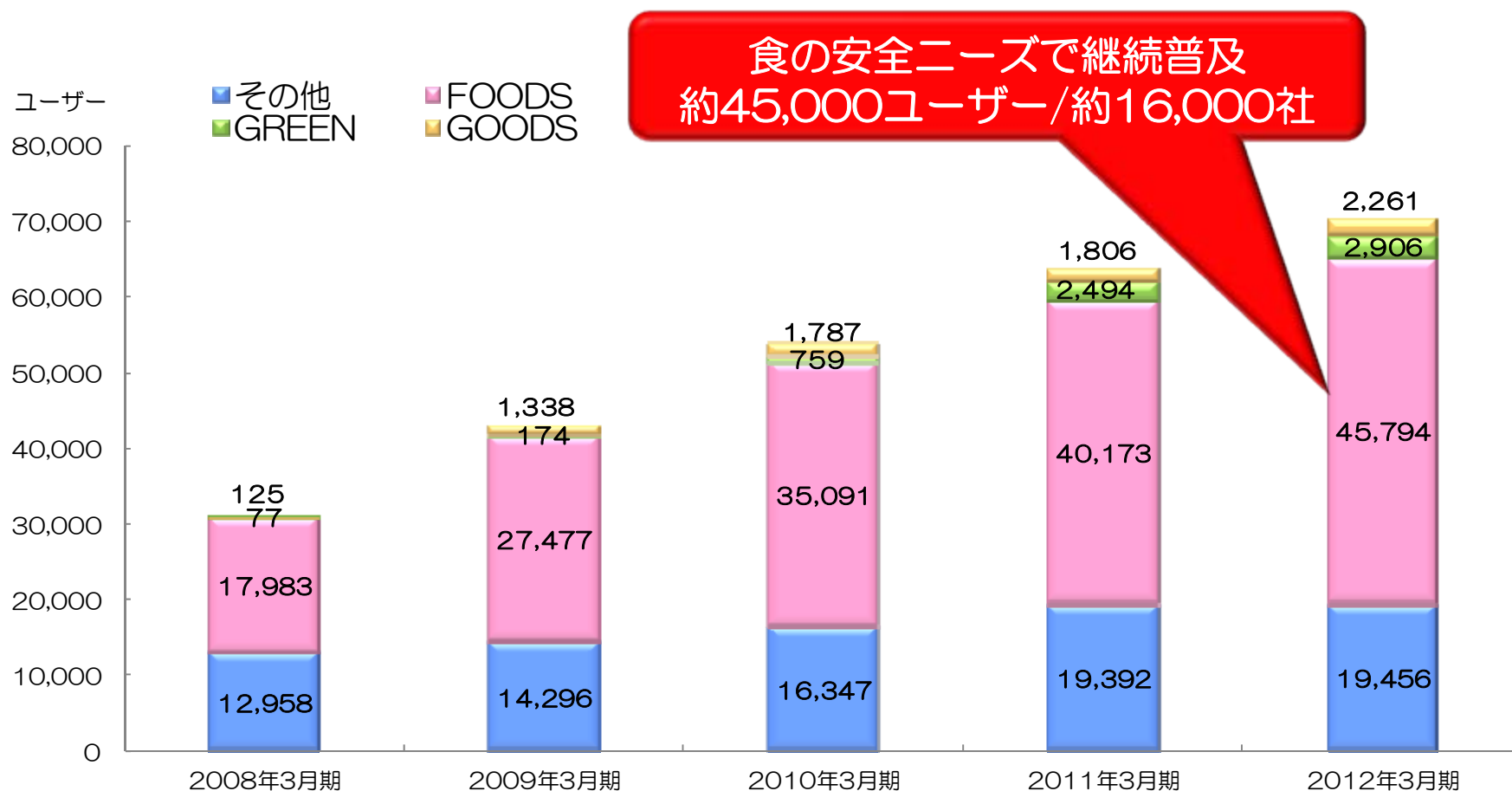
最上位eBASEserverへの自発的グレードアップを促進！

累計ユーザー数（2011年9月末現在）

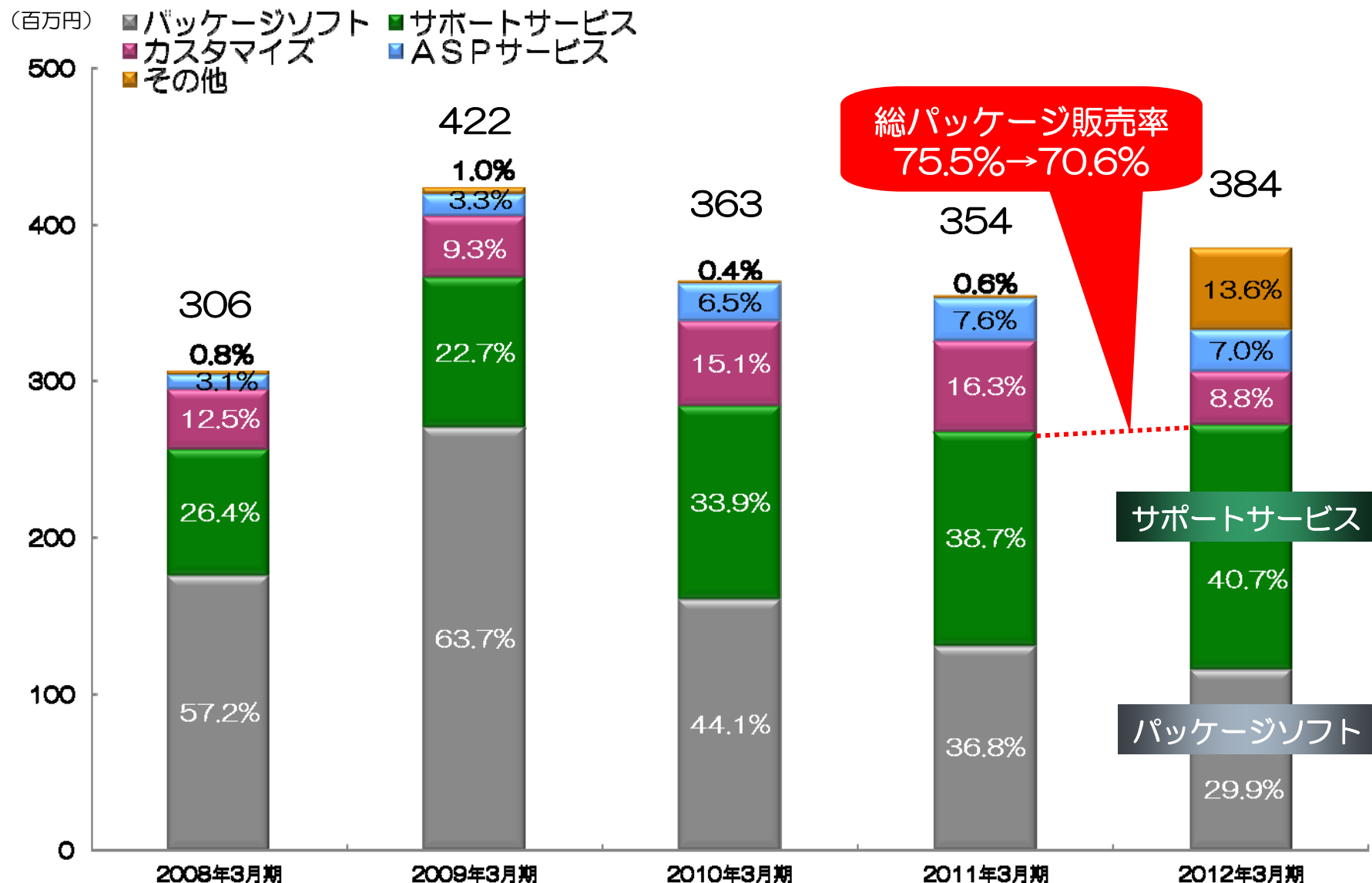


業界別ユーザー数（2011年9月末現在）

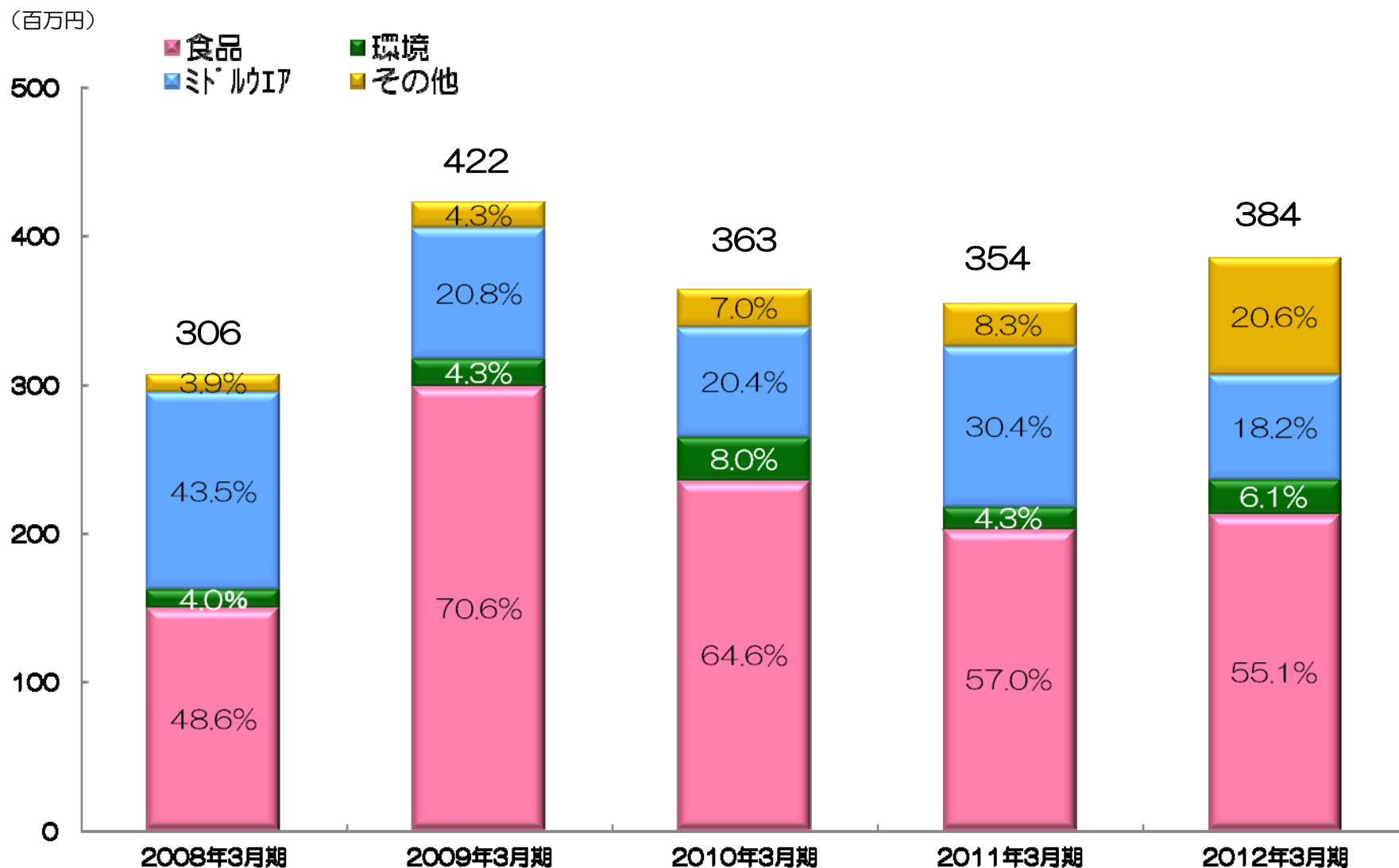
幅広い業界で商品情報交換の標準プラットフォームとして普及。



第2四半期累計種類別販売実績の推移



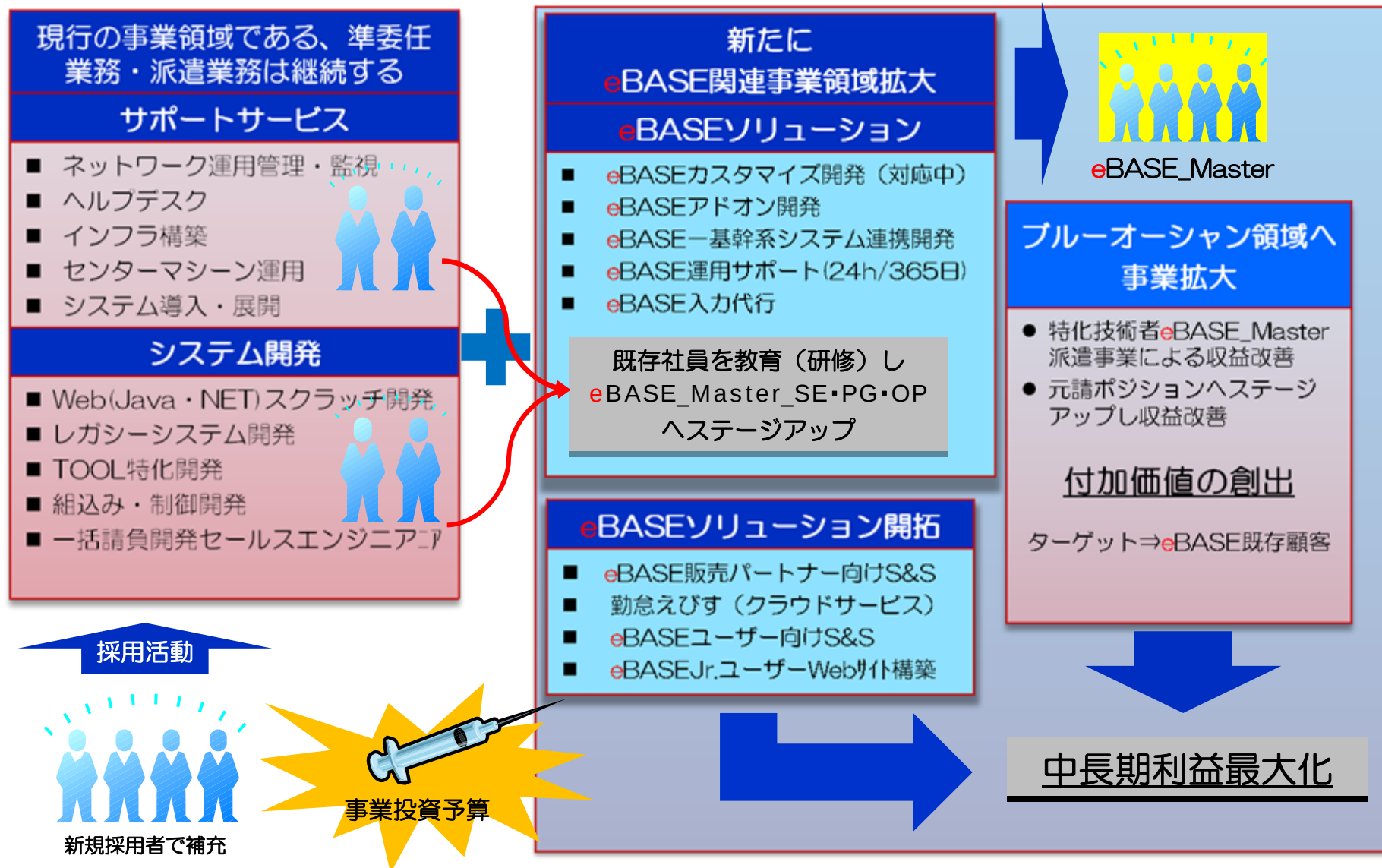
第2四半期累計業界別売上実績の推移



eBASE-PLUS事業の 概要と事業報告

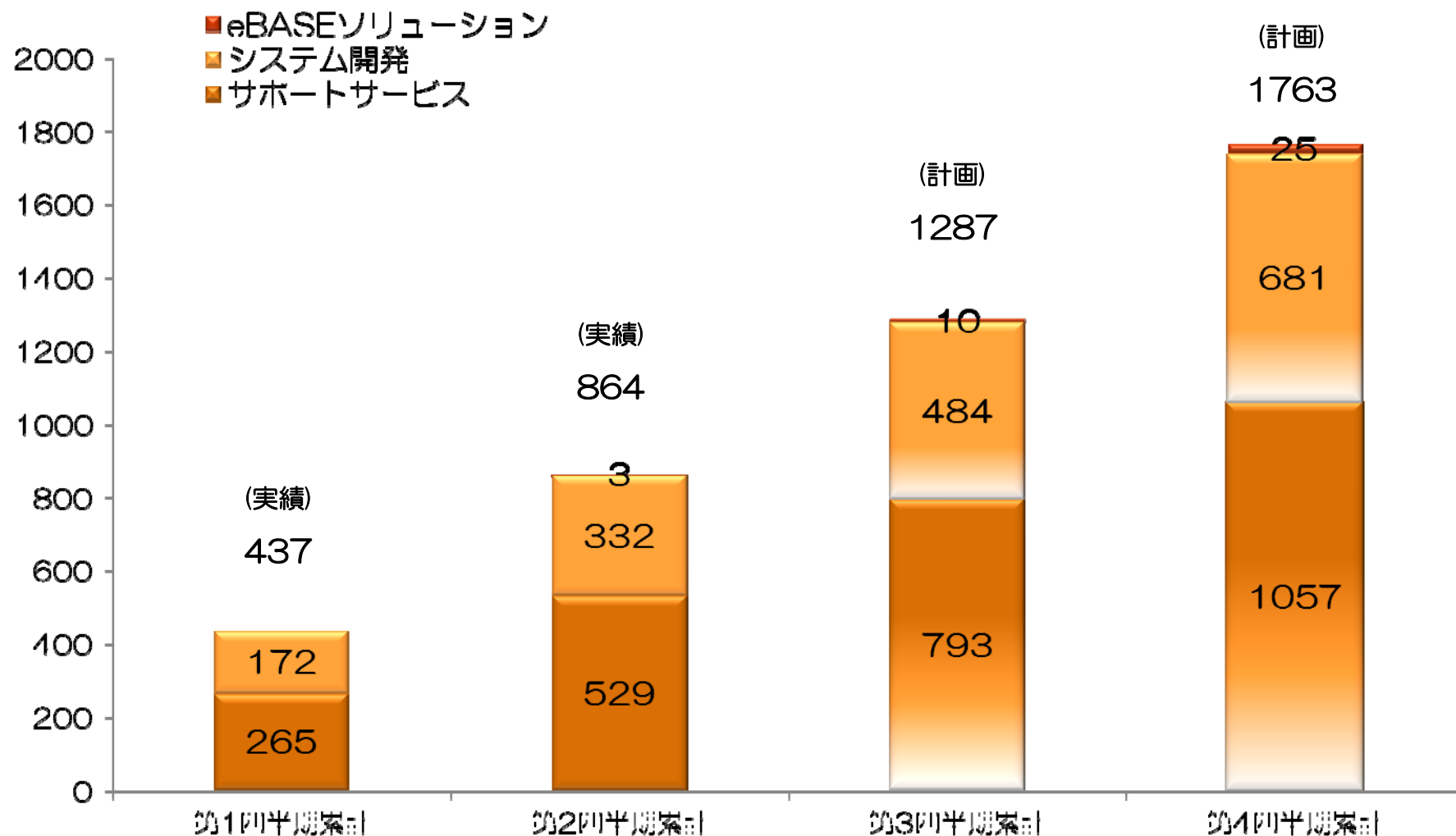
- eBASE-PLUS事業概要と展開策
- 部門別・四半期別売上実績と予想の推移

eBASE-PLUS事業概要と展開策



eBASE-PLUS事業

部門別・四半期別売上実績と予想の推移



今年度施策とその進捗報告①

■FOODS eBASE /現事業モデルの継続推進

- 有償ソフト拡販と既存ユーザーのクロスセル・アップセルで概ね計画通り
- 中長期施策として「ストックビジネス=クラウド（キーワード）対応」に着手
 - ①FOODS eBASE portal
 - ②FOODS eBASE Cloud
 - ③FOODS eBASE NBセンター

■GREEN eBASE/REACH施行に伴い推進

- 『 GREEN Cloud Concierge Counter (GCCC) 』の海外(中国)展開で中国有償会員が増加
- アーティクルマネジメント協議会 (JAMP)の「OR2IS(オーリス)」プロジェクトの進捗遅れで、計画未達。

今年度施策とその進捗報告②

■eBASEミドルウェアビジネスの推進

- コンテンツマネージメントソフトの開発販売が概ね計画通り
- 会員管理、介護管理等の大型受託開発案件の受注内定
- スマートフォンやタブレット端末に対応したeBASEweb等のミドルウェアの強化

■クラウド&ストックビジネスの推進

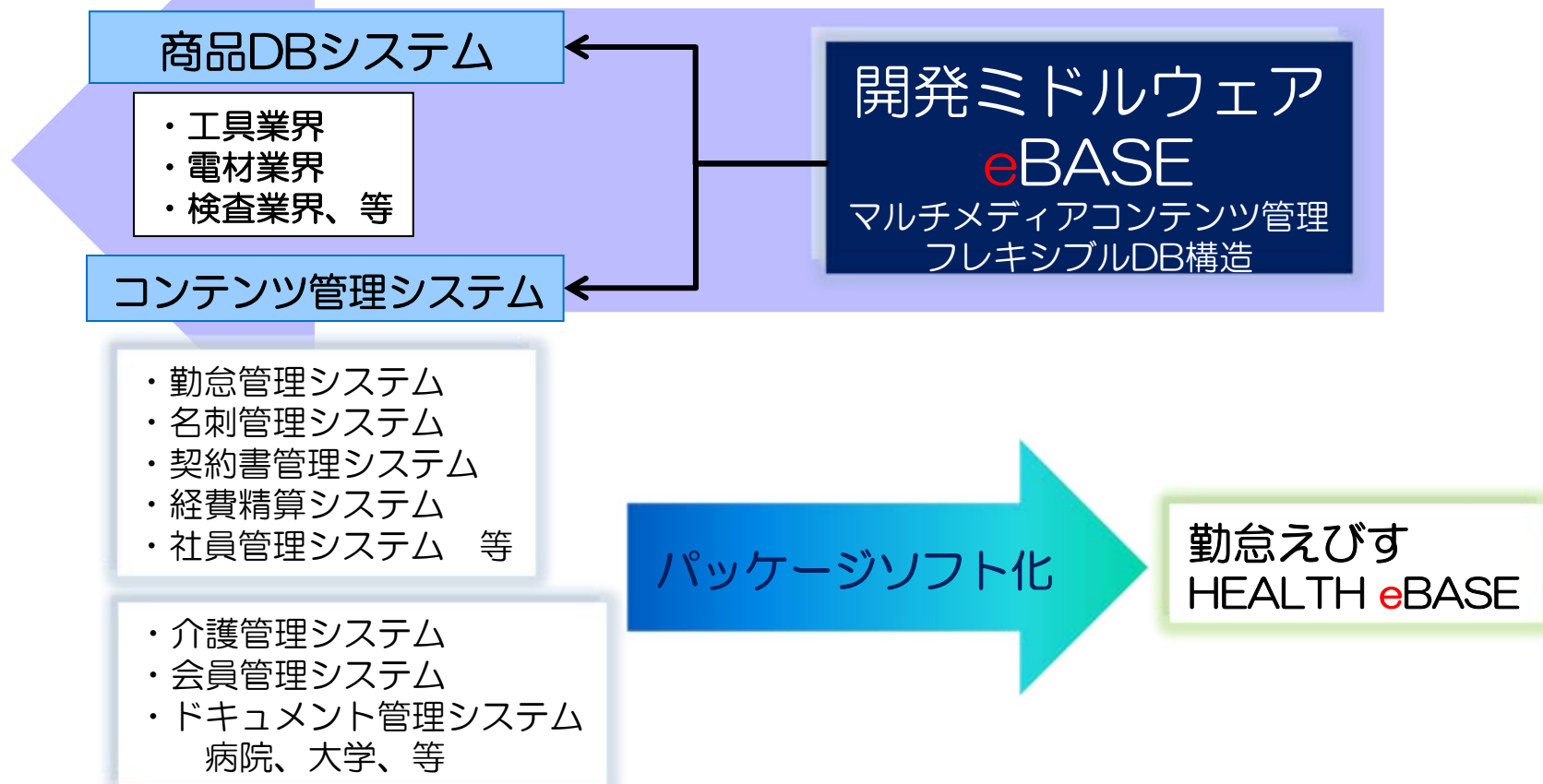
- 既存サポートビジネスは順調に推移
- 各種オンプレミス製品のクラウド化を着手するも販促、拡販遅れ、計画未達
- 無償eBASEJr.にてプリペイド方式サービス(eB-PointService)を一部サービス開始

■eBASE-PLUS事業/BPRと相乗効果創出

- eBASE社の「eBASE関連ビジネス創出」は、今年度約25百万円の見込み
- PLUS社の「eBASEビジネス創出」は推進中であるが、今年度の見込みは未定
- 派遣業向けweb勤怠管理システム「勤怠えびす」の営業活動開始

eBASEミドルウェア事業の概要と進捗

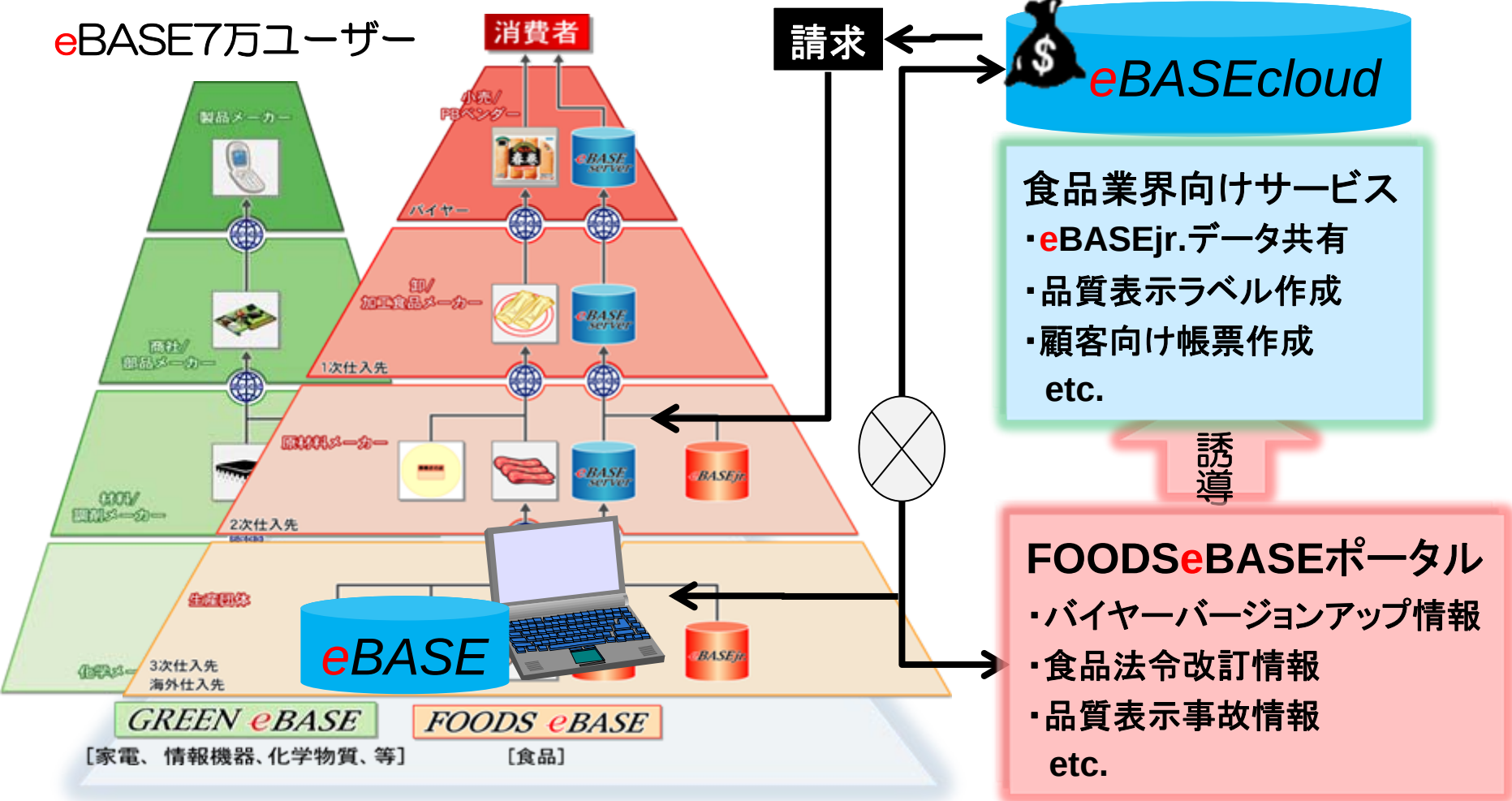
eBASEミドルウェア事業(受託開発事業)



- ・ コンテンツ管理ソフトの受託開発販売が概ね計画通り推進
- ・ 会員管理、介護管理システム、等の大型受託開発案件の受注内定
- ・ スマホ、タブレット端末に対応したeBASEweb等のミドルウェアの強化

クラウド&ストックビジネスの概要と進捗

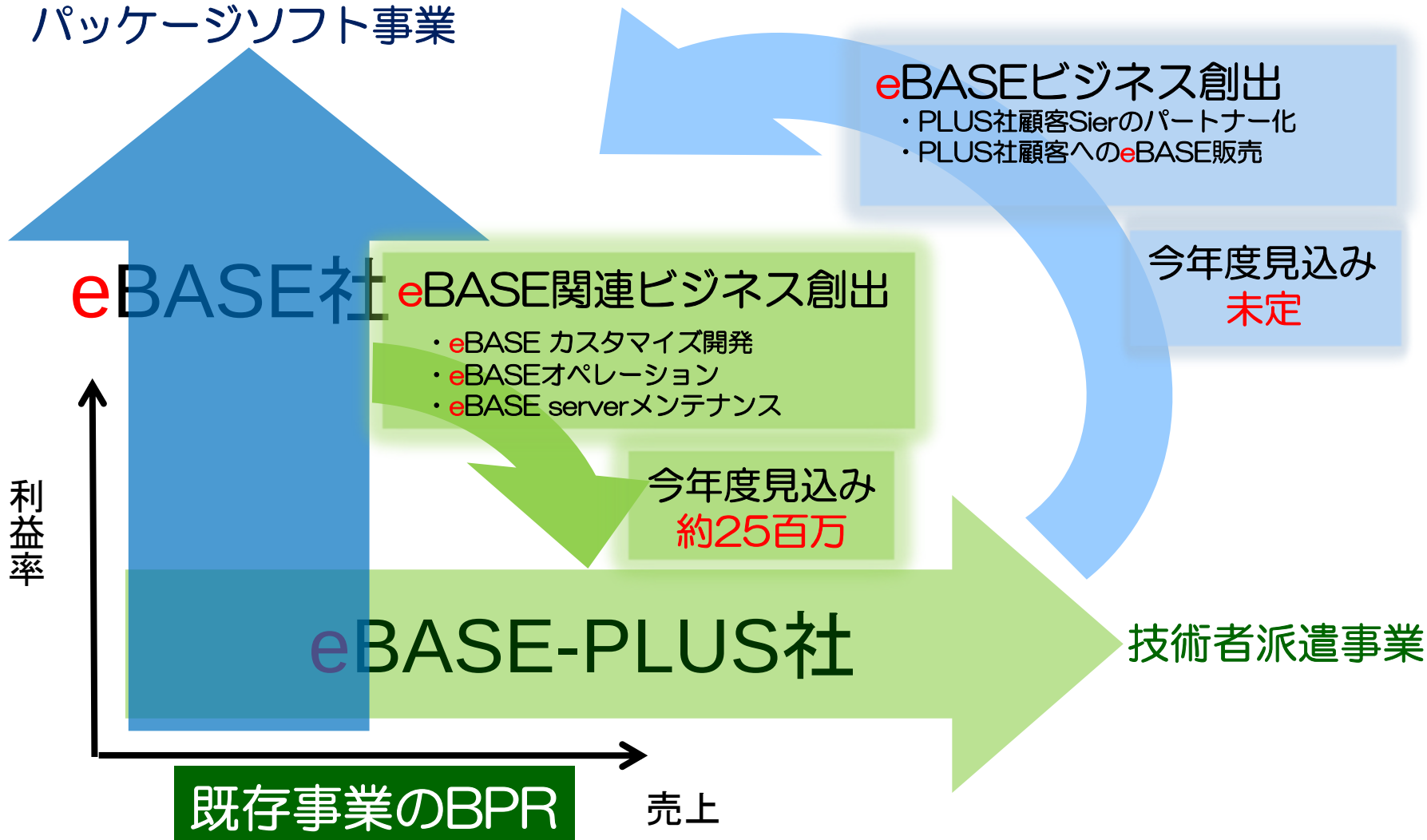
eBASE7万ユーザー



- ・既存サポート事業は順調に推移
- ・各種オンプレミス製品のクラウド化を着手するも販促、拡販遅れ、計画未達
- ・eBASEユーザーにプリペイド式サービス(eB-PointService)の一部サービス開始

eBASE-PLUS事業/BPRと相乗効果創出

パッケージソフト事業



- ・ eBASE関連ビジネス創出は、今年度約25百万円の見込み
- ・ eBASEビジネス創出は推進中であるが、今年度の見込みは未定

本資料お取扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

IRに関するお問合せ

管理部 06-6486-3955

management@ebase.co.jp